



山の花山の植物 写真集

横浜鎌倉の四季
のんさん



ミズバショウ (*Lysichiton camtschatense*) サトイモ科ミズバショウ属多年草本

撮影地：群馬県利根郡水上町藤原標高880m、湿潤な草地 [藤原ダム周辺地図](#)

撮影日時：2006. 5. 6

雪の多い奥利根の雪解けが進むと、ミズバショウの花が咲き出します。白く見える花のようなものは、仏炎苞といって葉に近いものです。花は中心にある円柱状のもので、花序といいます。仏炎苞が初夏の日差しを浴びて輝きます。ミズバショウが咲くと山にも遅い春がやってきます。

草津ザゼンソウ公園に咲くザゼンソウの花



ザゼンソウ (*Symplocarpus foetidus*) サトイモ科ザゼンソウ属

撮影地：群馬県吾妻郡草津町大字前口500標高670m、沢筋の湿地 [ザゼンソウ公園周辺地図](#)

撮影日時：2007. 5. 4

雪解けの頃、ミズバショウとともに真っ先に咲き出す花がザゼンソウです。ザゼンソウはミズバショウに似ていますが、仏炎苞がきれいな紫色です。中心にある肉穂花序は動物のように発熱して、雪の中でも恒温状態（一定の体温維持）を保ちます。このザゼンソウの発熱システムは、現在注目されています。



ヤマブキ (*Kerria japonica*) バラ科ヤマブキ属落葉低木

撮影地：福島県会津若松市大戸町大字芦牧標高514m [芦ノ牧温泉周辺地図](#)

撮影日時：2005. 5. 1

会津芦ノ牧温泉にも遅い春がやってきました。雪解け水を集めて流れる、阿賀川の岸辺にヤマブキの花が咲いていました。ヤマブキのヤマブキ色は目に鮮やかです。ヤマブキの花は雪国に春の訪れを告げます。参照[会津の色図鑑](#)

雪解けのころのフキノトウの花



フキ (*Petasites japonicus*) キク科フキ属多年草

撮影地：福島県 耶麻郡北塩原村大字松原標高 7 8 0 m [裏磐梯五色沼周辺地図](#)

撮影日時：2 0 0 5 . 4 . 2 9

フキの花フキノトウは雪時の頃、雪の下から花をつけます。福島県裏磐梯にある五色沼は豪雪地帯、冬には深い雪に覆われます。裏磐梯では、4 月下旬にやっと雪解けがやってきます。雪解けの陽だまりに、フキノトウが芽を出しています。フキノトウは食べると苦いですが、雪国では春の味として好まれます。



フクジュソウ (*Adonis ramosa*) キンポウゲ科フクジュソウ属多年草草本

撮影地：京都市右京区嵯峨鳥居本小坂町標高約100m、湿潤な樹林の下 [祇王寺周辺地図](#)

撮影日時：2008. 3. 12

フクジュソウは春一番に咲き出す花です。フクジュソウは雪国では雪解けの頃、黄色い花が茎の中から顔を出すので人気の高い花です。福寿草を見ると、長かった冬の終わりを知ることができます。朝夕は花を閉じますが、日中は花を開きます。キンポウゲ科特有の多数のめしべ、おしべが覗いて見えますね。参照 [京都早春の花旅](#)

春一番に咲き出すニリンソウの花

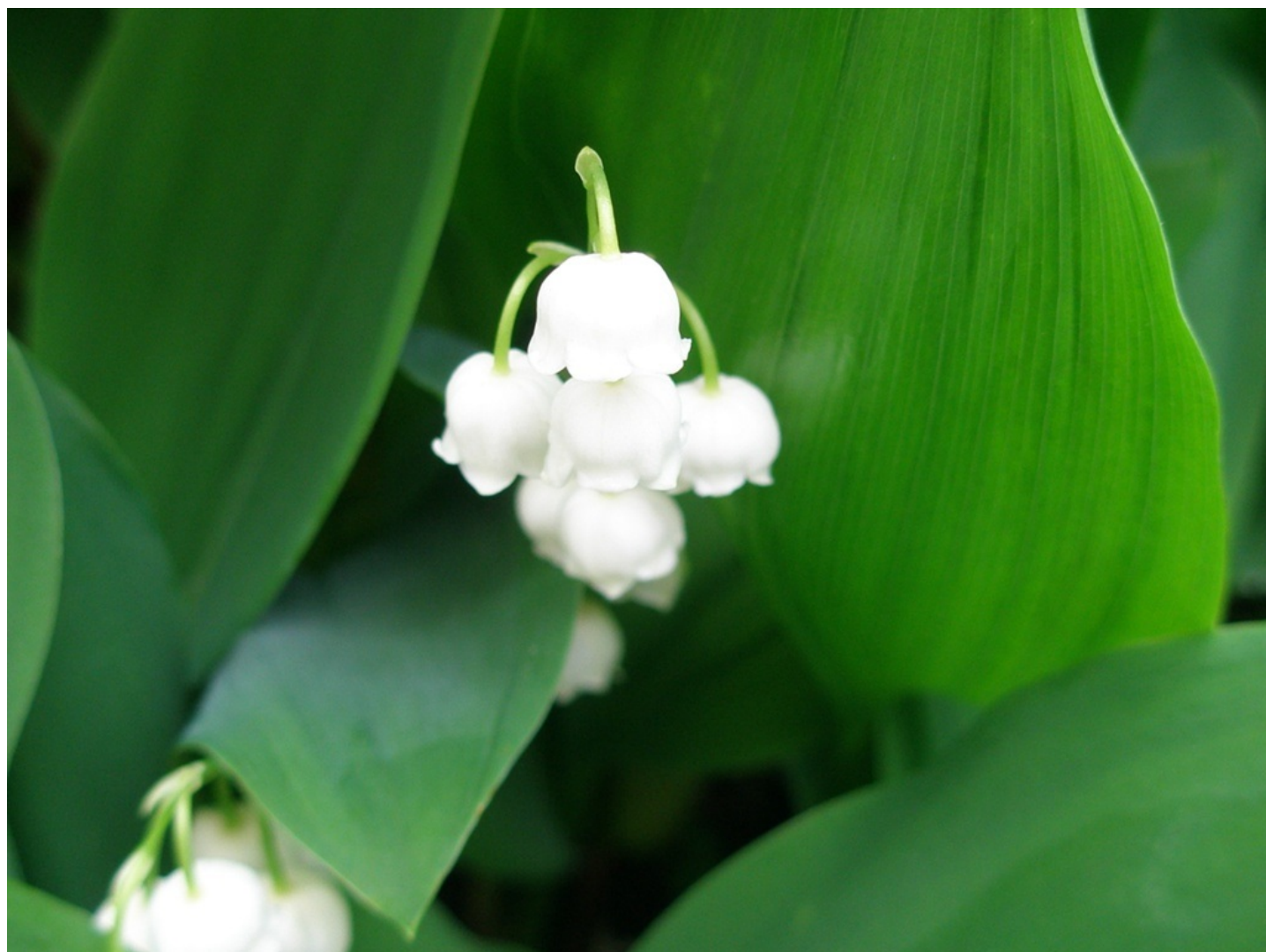


ニリンソウ (*Anemone flaccida*) キンボウゲ科イチリンソウ属多年草

撮影地横浜市金沢区金沢市民の森標高約30m、湿潤な草地 [金沢山周辺地図](#)

撮影日時：2009. 4. 4

ニリンソウは雪解けの頃、山で見かける花です。温暖な横浜市金沢区の沿岸部にある金沢市民の森で、ニリンソウの大きな群落を見つけました。ニリンソウは春の日差しを浴びて白く輝く、爽やかな花です。参照 [金沢文庫海の公園](#)



スズラン (*Convallaria keiskei*) ユリ科スズラン属、多年草

撮影地：北海道 亀田郡七飯町字大沼町標高 1 3 0 m 湿潤な明るい落葉樹林の中 [大沼公園散策路周辺地図](#)

撮影日時：2 0 0 3. 6. 2

スズランは北国に初夏を告げる花です。北海道に本格的な新緑の季節がやってくる6月上旬、林の下でスズランが咲き出します。スズランの花は良い香りがします。スズランは北海道の初夏を代表する花です。



チゴユリ（*Disporum smilacinum*）ユリ科チゴユリ属多年草

撮影地：北海道 亀田郡七飯町字大沼町標高 1 3 0 m 湿潤な明るい落葉樹林の草地 [大沼公園散策路](#)

[周辺地図](#)

撮影日時：2 0 0 3．6．2

大沼公園の樹林の中を散歩していると、木陰に可愛く小さなユリ科の花が咲いていました。チゴユリの花です。日本では「稚児ゆり」とよばれています。チゴユリの花とてもかわいらしいですね。



ライラック (*Syringa vulgaris*) モクセイ科ハシドイ属、落葉樹

撮影地：北海道 亀田郡七飯町字大沼町標高 1 3 0 m 湿潤な明るい落葉樹林 [大沼公園散策路周辺地](#)

[図](#)

撮影日時：2 0 0 3. 6. 2

北国の初夏を彩る花はたくさんありますが、ライラックもその一つです。ライラックは札幌などでは街の街路樹として植えられています。大沼公園の沼の畔にライラックの花が咲いていました。ライラックの紫色の香りの良い花が、大沼公園の湖沼に映えます。



ナルコユリ（*Polygonatum falcatum*）ユリ科ナルコユリ属、多年生草本

撮影地：鎌倉市長谷3丁目標高約20m湿潤な林の下 [鎌倉長谷寺地図](#)

撮影日時：2010. 4. 29

ナルコユリはよく初夏の林の下に咲いています。写真のものは植栽されたものですが、林の散歩道で出会うとうれしい花です。ナルコユリは昔から強精剤として利用されている植物です。ナルコユリの、かわいい花がたわわに咲く様子は見事です。



コバイケイソウ（*Veratrum stamineum*）ユリ科シュロソウ属、多年生植物

場所：乗鞍岳畳平標高2700m地点、湿潤な草地 [乗鞍岳畳平周辺地図](#)

撮影日時：2010. 8. 19

乗鞍岳畳平の草地にコバイケイソウの花が咲いていました。コバイケイソウは、夏山の草原で目立つ花です。夏の日差しを浴びて、ウメの花に似たたくさんの花が輝いて見えました。コバイケイソウの葉も、スズランの葉のようにきれいな葉です。おいしそうに見えますが、毒がありますので食べないで下さい。



ハクサンイチゲ (*Anemone narcissiflora*) キンポウゲ科イチリンソウ属、多年草

撮影地：乗鞍岳畳平標高2700m、湿潤な草地斜面

撮影日時：2010. 8. 19

ハクサンイチゲの花は白く清々しい花です。高山のお花畑で夏の日差しを浴びて、白く輝きます。
。ハクサンイチゲの花が、雪溪の雪解け後に咲くその姿は見事です。



イワギキョウ (*Campanula lasiocarpa*) キキョウ科ホタルブクロ族

撮影地：乗鞍岳畳平標高2700m砂礫地

撮影日時：2010. 8. 19

イワギキョウは、高山帯の砂礫地に生息するキキョウ科の可愛い植物です。イワギキョウの青く澄んだ青色の花は天を目指して咲いていました。高山帯の青く澄んだ空の色の花です。イワギキョウの花は葉に比べて、花は大きくけなげに見えます。



ハイマツ (*Pinus pumila*) マツ科マツ属、常緑針葉樹

撮影地：乗鞍魔王岳標高2763m、岩場

撮影日時：2010. 8. 19



魔王岳から見るハイマツ帯と亀池

ハイマツは高山帯の岩場やガレ地を好む、マツ科の常緑針葉樹です。乗鞍魔王岳付近のハイマツ帯は素晴らしく一見の価値があります。魔王岳山麓にある、亀池の青緑色の湖面にハイマツの緑色が映えます。



ミヤマキンボウゲ (*Ranunculus acris* var. *nipponicus*) キンボウゲ科キンボウゲ属、多年生草本

撮影地：乗鞍岳畳平 2700m 地点、湿潤な傾斜地

撮影日時：2010. 8. 19

雪溪が解けた斜面に、ミヤマキンボウゲの花が咲いていました。ミヤマキンボウゲはシナノキンバイに似ていますが、少し小ぶりの黄色い花が咲きます。ミヤマキンボウゲの黄色く目立つ花は、お花畑でも目立ちます。ミヤマキンボウゲの花は見るだけで元気になりそうな花です。



コケモモ (*Vaccinium vitis-idaea* L.) ツツジ科スノキ属、常緑小低木

撮影場所：北海道網走郡美幌峠上標高510m、日当たりの良い少し湿潤な草地

撮影日時：2004. 8. 27

秋が近い北海道美幌峠の草地に真っ赤なコケモモの実ができていました。コケモモはこれでも立派な木です。美幌峠のコケモモは風雪のために高さが10cmにも満たないです。そんな小さな体に大きな実を実らせています。口にそのまま含むと、甘酸っぱいです。コケモモはジャムにすると美味です。もう北海道は秋の気配です。



エゾタカラコウ (*Ligularia hodgsonii*) キク科オタカラコウ属、多年草

撮影地：北海道網走郡美幌町美幌峠上標高520m、クマザサの生える少し湿潤な草地 [美幌峠周](#)

[辺地図](#)

撮影日時：2005. 8. 25

北海道美幌峠からは屈斜路湖が良く見えます。峠の展望台とは反対側の登山道を登ると、眺めの良い草地在広がっています。ここからの屈斜路湖の眺めは最高です。少し湿潤な草地にエゾタカラコウの花が咲いていました。エゾタカラコウは、本州のタカラコウに似た花です。エゾタカラコウの黄色い花と青い湖とても良い眺めです。エゾタカラコウは別名トウゲブキとも呼ばれます

。



サワギキョウ (*Lobelia sessilifolia*) キキョウ科ミゾカクシ属、多年草

撮影地：北海道岩内郡共和町神仙沼標高760m、寒冷な高層湿原沼地 [神仙沼登山口周辺地図](#)

撮影日時：2006. 8. 26

ニセコ神仙沼はニセコアンヌプリを主峰とするニセコ連山の一つチセヌプリ山麓にあります。神仙沼周辺は寒冷な高層湿原です。新鮮沼に青く美しいサワギキョウの花が咲いていました。この付近は豪雪地で半年以上雪で覆われます。サワギキョウの青い花が、神仙沼に映えます。参照 [ニセコ神仙沼花旅](#)



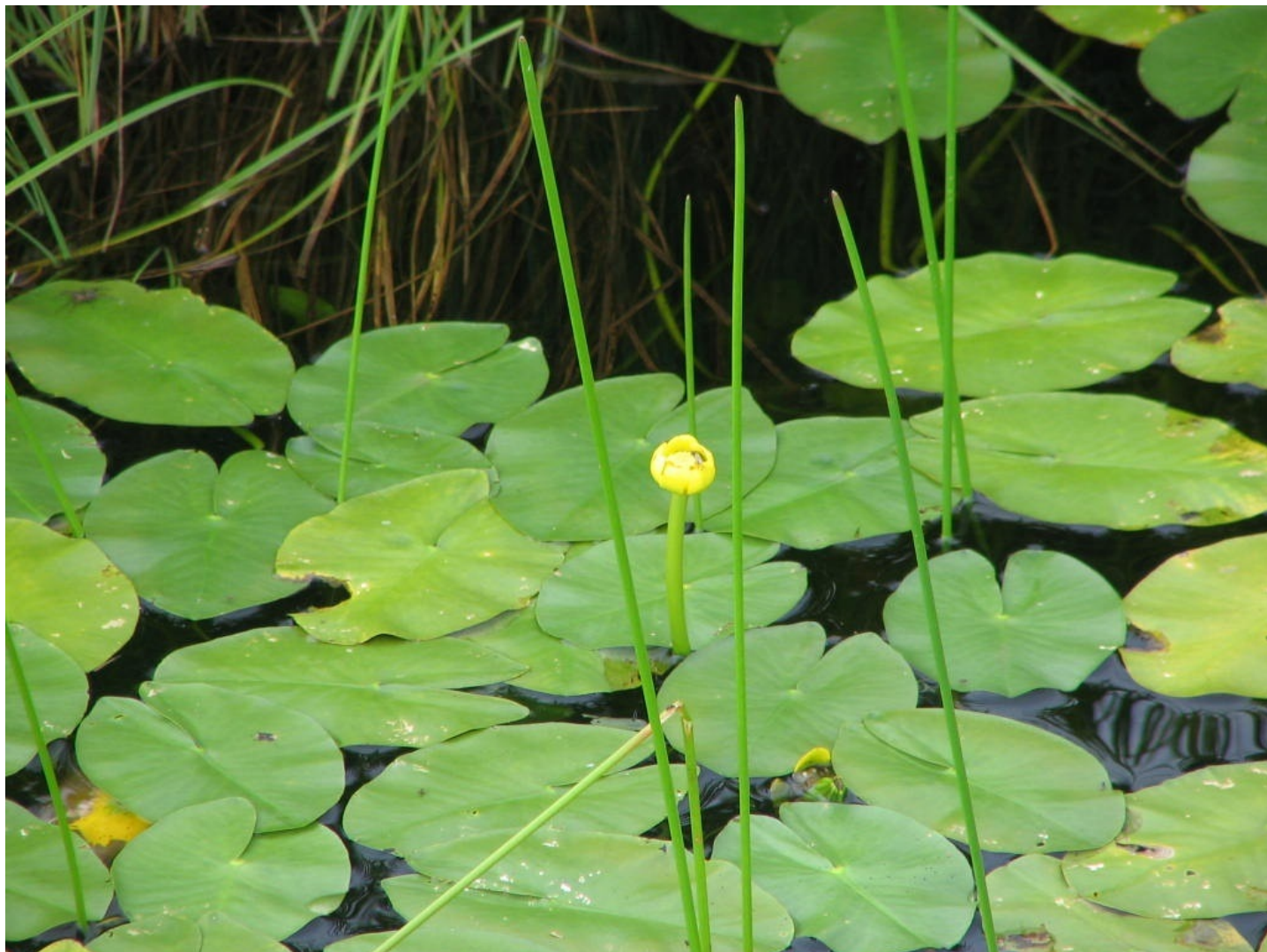
ナガボノシロワレモコウ (*Sanguisorba tenuifolia*) バラ科ワレモコウ属、多年生草本

撮影地：北海道岩内郡共和町神仙沼標高760m、寒冷な高層湿原湿潤な草地 [神仙沼登山口周辺](#)

[地図](#)

撮影日時：2006. 8. 26

ニセコ神仙沼の湿地にナガボノシロワレモコウの花が咲いていました。ナガボノシロワレモコウの花に蝶がとまって蜜を吸っています。ワレモコウは普通黒紫色のものが多くいますが、北海道では白いナガボノシロワレモコウをよく見かけます。



ネムロコウホネ (*Nuphar pumilum*) スイレン科コウホネ属、水生の多年生草本

撮影地：北海道岩内郡共和町神仙沼、標高 7 6 0 m 寒冷な高層湿原沼地

撮影日時：2 0 0 6 . 8 . 2 8

ニセコ神仙沼の沼地にネムロコウホネの黄色い花が咲いていました。尾瀬の湿原で見られる、オゼコウホネと良く似た花です。湿原の中でネムロコウホネの黄色い花は目立ちます。神仙沼には、多くのトンボも棲んでいます。神仙沼は、高山植物や山の花を眺めながらの散策に最適な場所です。



エゾニュウ（*Angelica ursina*）セリ科シシウド属、大形の多年草

撮影地：北海道余別町神威岬標高30m、岩場の斜面、土壌あり [神威岬周辺地図](#)

撮影日時：2006. 8. 26

本州では山の花であるシシウドの仲間のエゾニュウも北海道では沿岸部に咲きます。本州の山の花や高山植物が沿岸部で見れるのはうれしいですね。エゾニュウは成長すると2～3mにもなります。エゾニュウの若い芽は野草としても人気があります。青い積丹の海にエゾニュウの白い花が映えます。参照[積丹半島の植物と自然](#)



ウツギ (*Deutzia crenata*) アジサイ科ウツギ属、落葉低木

撮影場所：鎌倉市佐助2丁目、湿潤な雑木林標高約90m [源氏山公園周辺地図](#)

撮影日時：2008. 4. 24

「卵の花のにおう・・・」と唄われるウノハナはウツギの仲間です。ウツギは初夏を代表する花です。ウツギの白く清々しい花は初夏の訪れを告げます。卵の花（ウツギ）のにおう頃は、とても良い季節です。



シロヤマブキ (*Rhodotypos scandens*) バラ科シロヤマブキ属、落葉低木

撮影地：鎌倉市山ノ内標高15m、湿潤な崖地[北鎌倉東慶寺周辺地図](#)

撮影日時：2008. 4. 28

シロヤマブキはヤマブキに似た花です。葉の様子もヤマブキにそっくりですが、ヤマブキの花弁が5枚に対してシロヤマブキの花弁は4枚です。シロヤマブキの上品な白い花はとても美しいです。



シャガ (*Iris japonica*) アヤメ科アヤメ属、多年草

撮影地：鎌倉市山ノ内湿潤杉林の下標高約30m [北鎌倉東慶寺周辺地図](#)

撮影日時：2008. 4. 24

鎌倉の山沿いを春の終わりから、初夏にかけて散策していると山沿いでよく見かける花がシャガです。アヤメに似た花は、清々しいです。シャガの花は鎌倉の山を代表する花の一つです。シャガの学名は*Iris japonica*で、日本を代表するアヤメのように見えますが、原産は中国です。シャガは古い時代に日本に帰化したと考えられています。



ミヤコワスレ (*Gymnaster savatieri*) キク科ミヤマヨメナ属、多年草

撮影地：鎌倉市長谷3丁目標高約20m湿潤な崖沿い [鎌倉長谷寺地図](#)

撮影日時：2009. 5. 1

ミヤコワスレの花は初夏の楽しみです。ミヤコワスレはキク科の20～30cm程の小さな茎の先に、紫色の可憐な花をつけます。都落ちをした、貴族が東国に咲くこの花を見て愛でたそうです。ミヤコワスレはとても可憐な花で人気のある花です。



タツナミソウ（*Lamiaceae Scutellaria*）シソ科タツナミソウ属、草本

撮影場所：横須賀市阿部倉日標高30m当たりの良い石垣[横須賀安部倉しょうぶ園周辺地図](#)

撮影日時：2009. 4. 21

タツナミソウはシソ科の草本です。タツナミソウの花は波頭のように見えることから、「波が立つ」という意味で付けられています。タツナミソウの仲間は種類が多いです。タツナミソウの花は形が面白いので、見ていて飽きません。遠くの波を呼んでいるように見えました。



ウマノアシガタ (*Ranunculus japonicus*) キンボウゲ科キンボウゲ属、多年生草本

撮影地：奈良市佐紀町平城宮跡地、多少湿潤な草地[平城宮大極殿周辺地図](#)

撮影日時：2010. 5. 1

今年は平城遷都1300年を迎えました。平城遷都1300年祭のイベント会場の、平城宮跡地を散策していると水路沿いの草地にウマノアシガタの花が咲いていました。ウマノアシガタの名は、花の形からきています。初夏の日差しに黄色く輝くようなウマノアシガタの花は、明るい花です。参照[平城宮朱雀門](#)



ムラサキケマン (*Corydalis incisa*) ケマンソウ科キケマン属、越年生草本

撮影地：鎌倉市佐助2丁目標高93m 多少湿潤な林の下生え [源氏山公園周辺地図](#)

撮影日時：2006. 4. 8

ムラサキケマンの花は、鎌倉時代の古道化粧坂を登った、源氏山公園の林の中に生えていました。ムラサキケマンという名前はおもしろいですが、とてもきれいな花です。ムラサキケマンの紫色の筒状の花が印象的です。花が黄色いキケマンの花も同じ仲間です。



イカリソウ（*Epimedium grandiflorum* var. *thunbergianum*）メギ科イカリソウ属、落葉多年草

撮影場所：北安曇郡白馬村神城標高950m 湿潤な落葉樹林の中 [神城地区周辺地図](#)

撮影日時：2005. 5. 25

初夏白馬五竜岳の山麓の林の中を散歩していると、イカリの形をした花に出会いました。イカリソウの花です。イカリソウは林の中で、ひっそりと咲いていました。イカリソウは強精作用の強い植物として知られています。参照 [白馬塩の道を歩く](#)

吾妻峡に咲くミツバツツジの花



ミツバツツジ（*Rhododendron dilatatum*）ツツジ科ツツジ属、落葉低木

撮影場所：群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯、標高580m落葉樹林中 [吾妻溪谷周辺地図](#)

撮影日時：2006. 5. 5

群馬県吾妻峡は八ツ場ダム建設問題で、揺れました。ダムができれば、水没予定地であった吾妻峡にミツバツツジの自生地がありました。切り立った崖にミツバツツジの花が、初夏の日差しを浴びて輝いて見えます。新緑の吾妻峡とミツバツツジは、よく似合います。参照[ロマンチック街道花旅](#)



タイトゴメ（*Sedum oryzifolium*）ベンケイソウ科マンネングサ属、多年草

撮影場所：横須賀市鴨居4丁目、標高20m日当たりの良い岩場 [横須賀市観音崎たたら浜周辺地](#)

[図](#)

撮影日時：2005. 5. 21

タイトゴメは海岸に近い、日当たりのよい岩場で見るができます。ベンケイソウの仲間で、強い日差しや乾燥にも強い花です。初夏の強い日差しを浴びて、黄色く輝く元気な花です。参

照 [観音崎花散歩](#)

初夏に白く輝くエゴノキの花



エゴノキ (*Styrax japonica*) エゴノキ科エゴノキ属、落葉高木

撮影地：横浜市西区みなとみらい2丁目、標高3m市街地 [みなとみらい駅周辺地図](#)

撮影日時：2005. 5. 15

エゴノキは本来雑木林の樹木として一般的です。写真のものは街路樹として植栽されたものです。初夏の日差しを浴びて、エゴノキの花は白く輝きます。都会のビルの谷間では、初夏のエゴノキの花はオアシスに咲く花のようです。参照[横浜初夏の花散歩](#)



キランソウ (*Ajuga decumbens*) シソ科キランソウ属、草本

撮影場所：横須賀市阿部倉標高約40m [横須賀安部倉しょうぶ園周辺地図](#)

撮影日時：2008. 4. 28

横須賀市阿部倉にあるしょうぶ園にキランソウの仲間が生えていました。キランソウは別名ジゴクノカマノフタです。すごい名前ですが、青紫色のきれいな花です。参照 [横須賀しょうぶ園花散歩](#)



ミヤマオダマキ（*Aquilegia flabellata* var. *pumila*）キンポウゲ科オダマキ属草本

撮影地：横浜市中区山手町標高35m 半日陰の木陰 [イギリス館周辺地図](#)

撮影日時：2009. 4. 11

ミヤマオダマキは本来高山植物です。植栽されて、港の見える丘公園に咲いていました。山で見るミヤマオダマキに比べて少し背が高く見えます。高山の厳しい環境では、背が高いと育ちにくいそうですね。公園でミヤマオダマキに出逢えるのもうれしいものです。



キバナノヤマオダマキ (*Aquilegia buergeriana* f. *flavescens*) キンボウゲ科オダマキ属

撮影場所：長野県松本市安曇小梨平、標高 1 5 1 0 m 湿潤な樹林帯 [小梨平周辺地図](#)

撮影日時：2 0 1 0. 8. 2 0

今年も長野県上高地に近い小梨平を散策していると、キバナノヤマオダマキの花に出逢いました。毎年大体同じ場所で見られるようです。キバナノヤマオダマキの花は、ミヤマオダマキほど華々しくはありませんが、花の構造は大体同じです。今年もキバナヤマオダマキに出逢えてよかったと思います。参照 [上高地の動植物](#)

あとがき

写真集「山の花山の植物写真集 1」を最後まで見ていただき、感謝いたします。「山の花山の植物写真集 1」を満足いただけたでしょうか？もしお気に入りの写真などありましたら、各ページにあるお気に入り登録☆（パブユーザー登録でできます）を押していただけると幸いです。ご意見、感想などもいただけると、今後の編集の参考にもなり、ありがたいです。ご意見、感想などは各ページのコメント欄に記入下さい。ありがとうございました。